

児童生徒15人を表彰

新宮市「明るい町づくり」特選標語



表彰式に出席した皆さん＝1日、新宮市福祉センター

「この街と 心きれいに ボランティア」
 「令和から 幸せ願ひ 笑顔咲く」
 「助け合つ 心一つで 笑顔の輪」
 「とどけよう 心をつなぐ ありがとう」
 「『おはよう』は 友達かやす いい言葉」
 「スマホより 言葉でかわそう あいさつを」
 「来た人が 笑顔で帰れる 町づくり」
 「人間は 人の笑顔が 充電器」
 「『こんにちは』 笑顔と元気を プレゼント」
 「この町に あふれさせたい 挨拶を」
 「咲かせよう 令和に平和な 花びらを」
 「あかるくて みんな笑顔の 新宮市」
 「心がけ『誰かが』よりも 自分から」
 「ボーイ捨ては 自分の運まで 捨てている」
 「笑顔はね 世界を結ぶ 共通言語」

山本陽都	坂井幸弥	加藤千晴	須川優那	畑中将真	松本大惺	溝口 心	貝岐 優	山本力羽	打越菜七	中本陽晴	溝口ゆい	新家玲奈	浦田 葵	紅 彩美
(近大新宮高1)	(新翔高1)	(新宮高定時制1)	(矢渕中1)	(近大新宮中3)	(熊野川中2)	(高田中3)	(光洋中1)	(城南中3)	(緑丘中3)	(熊野川小4)	(高田小6)	(三輪崎小6)	(王子ヶ浜小6)	(神倉小6)

新宮市教育委員会、市校外指導協議会、市補導協力委員会、市立少年相談センター主催の令和元年度第33回「明るい町づくり」特選標語の表彰式

が1日、市福祉センターであった。市内の小学生から高校生までと紀宝町立矢渕中学校の15人に賞状などが贈られた。今回は集まった78点の

作品から審査会で特選15点を選んだ。一人一人に賞状を手渡した速水盛康教育長は「笑顔、あいさつといった言葉を使った標語が多く、優しい言葉で書かれていて素直な気持ちで伝わってきた」と講評。「皆さんの優秀な標語が、一人でも多くの市民の方の心に響き、明るい町づくりに寄与しただけることを願っています」と言葉をかけた。特選標語に選ばれたのは別表の皆さん。

(西久保勢津子)

新熊野新聞
 The Kumano Shimbun

2019年 7月3日
 (令和元年) 水曜日/赤口

発行所 熊野新聞社
 本社 〒647-0045 和歌山県新宮市井の沢3-6
 営業部 TEL 0735-22-8080 FAX 0735-23-2246
 記者室 TEL 0735-22-8325 FAX 0735-28-1125
 E-mail info@kumanoshimbun.com
 Web https://kumanoshimbun.com

青い海・みどりの山・大切な地元
 新宮信用金庫

作品から審査会で特選15点を選んだ。一人一人に賞状を手渡した速水盛康教育長は「笑顔、あいさつといった言葉を使った標語が多く、優しい言葉で書かれていて素直な気持ちで伝わってきた」と講評。「皆さんの優秀な標語が、一人でも多くの市民の方の心に響き、明るい町づくりに寄与しただけることを願っています」と言葉をかけた。特選標語に選ばれたのは別表の皆さん。